

2025年4月8日

東京外国語大学

2025年学部一般選抜前期日程試験における入試ミスについて（お詫び）

2025年2月25日（火）に実施いたしました本学学部一般選抜前期日程試験において、問題冊子に記載されていた出典情報及び引用文に一部誤りがあったことが判明しましたので、以下のとおり訂正いたします。

なお、本件に関しては、受験者の解答に影響はなかったものと判断し、採点や合否について特別な措置は行いません。

本学を受験いただいた皆様をはじめ、関係者に皆様に多大なご迷惑をおかけしたことを心よりお詫び申し上げます。

これまで本学におきましては、入学試験業務に万全を期してまいりましたが、それにもかかわらずこのような事案が発生したことを厳粛に受け止めております。今後は、このような事態が二度と発生することのないよう、全学をあげて再発防止に全力で取り組んでまいります。

【入試ミスの概要】

(1) 入試方法の区分、試験科目

2025年度学部一般選抜（前期日程） 世界史探究

(2) 試験実施日

試験実施日 2025年2月25日（火）

(3) 募集人員

言語文化学部 290名

国際社会学部 254名

国際日本学部 35名 計 579名

(4) 当該科目の受験者数

856名

(5) 出題ミスの内容

<出典情報の誤記>

- ・問題冊子 16 ページ目 [C-2] の「出典：」に関する部分

[正しい出典情報]

Orders in Council, or Colonial Ordinances, for better Regulation and Enforcement of Relative Duties of Masters and Employers in Colonies of British Guiana and Mauritius. PP 1837-38 (180) (232), LII. 1, 143, pp. 77.  
なお、一部の表現を改めた。

- ・問題冊子 19 ページ目 [E] の「出典：」に関する部分

[正しい出典情報]

帆刈浩之『越境する身体の世界史—華僑ネットワークにおける慈善と医療』風響社、2015年。なお、一部の表現を改めた。

<出典元からの誤ったかつ不適切な引用>

問題冊子 18 ページ目 [D-2] 出典元からの引用文の後半部分

[適切な引用文]

[中略] 400 万ヘクタールのうち、113 万ヘクタールが入植者の農民家族に売却され、自作農となった農民家族の数は 4568 に達した。その約 8 割がイタリヤ移民であったという。[中略] アルゼンチンは世紀転換期には世界有数の小麦輸出国へと変貌を遂げていくのである。

【対応する措置】

受験者の解答に影響はなかったものと判断し、採点や合否について特別な措置は行いません。

【今後の防止に向けた取組について】

試験問題の点検を徹底し、点検項目を見直すとともに、問題点検の機会を増やし、問題作成関係者以外の新たな視点による点検を強化するなど、再発防止に向け全力で取り組んでまいります。

本件お問合せ先

東京外国語大学学務部入試課

電話：042-330-5178

e-mail：ad@tufs.ac.jp